

平成26年度

第2回大分県教育委員会 会議録

日 時 平成26年4月21日（月）
開会14時10分 閉会15時53分

場 所 教育委員室

平成26年度
第2回大分県教育委員会

【議 事】

(1) 議 案

第1号議案 教職員の懲戒処分について

(2) 報 告

①平成26年度大分県立高等学校入学者選抜結果について

②平成26年度大分県立特別支援学校高等部・専攻科入学者選考の結果について

③平成26年3月県立特別支援学校高等部卒業者の一般就労率について

④いじめ解決支援チームの活動報告について

⑤各文化施設の年間行事（平成26年度）について

(3) 協 議

①新設高校の開校に向けての準備状況について

②平成27年度（平成26年度実施）教員採用試験実施要項（案）について

③平成27年度（平成26年度実施）民間人校長採用選考（案）について

(4) その他

【内 容】

1 出席者

委 員	委員長	松 田 順 子
	委員長職務代理者	林 浩 昭
	委員	麻 生 益 直
	委員	岩 崎 哲 朗
	委員	首 藤 照 美
	教育長	野 中 信 孝

事務局	理事兼教育次長	河 野 盛 次
	教育次長	落 合 弘
	教育次長	大 城 久 武
	教育改革・企画課総務企画監	橋 本 昌 樹
	教育人事課長	藤 本 哲 弘
	教育財務課長	岡 田 雄
	福利課長	大 石 尚 志
	義務教育課指導主事兼課長補佐（総括）	姫 野 悟
	生徒指導推進室長	江 藤 義
	特別支援教育課長	後 藤 みゆき
	高校教育課長	高 畑 一 郎
	社会教育課長	曾根崎 靖
	人権・同和教育課長	甲 斐 順 治
	文化課長	山 口 博 文
	体育保健課長	蓑 田 智 通
	教育改革・企画課主幹	勝 尾 裕 美
	教育改革・企画課主査	石 丸 一 輝

2 傍聴人

9 名

開会・点呼

(松田委員長)

それでは、委員の出席確認をいたします。
本日は、全委員が出席です。

ただいまから平成26年度 第2回教育委員会会議を開きます。

署名委員指名

(松田委員長)

本日の会議録の署名委員でございますが、首藤委員にお願いしたいと思っております。

会期の決定

(松田委員長)

本日の教育委員会会議はお手元の次第のとおりであります。
会議の終了は16時05分を予定しています。
よろしく申し上げます。

議 事

(松田委員長)

はじめに、会議は原則として公開することとなっておりますが、会議を公開しないことについてお諮りします。

第1号議案及び協議の②、③は人事に関する案件でありますので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第6項ただし書の規定により、これらを公開しないことについて、委員の皆さんにお諮りいたします。

公開しないことに賛成の委員は挙手をお願いします。

(採 決)

それでは、第1号議案及び協議の②、③は、非公開といたします。
本日の議事進行は、はじめに公開による議事を行い、次に非公開による議事を行います。

【報 告】

①平成26年度大分県立高等学校入学者選抜結果について

(松田委員長)

それでは、第1号報告「大分県立高等学校入学者選抜結果について」報告をしてください。

(高畑高校教育課長)

資料の〔全日制〕の表をご覧ください。表の一番上の欄が平成26年度入試における結果であり、比較として、その下の欄に平成25年度入試の結果、その下の欄には増減した人数を示しています。また、項目としては、入学定員、推薦入試・連携型入試、一次入試、二次入試の順に、人数をまとめています。

平成26年度の欄を横にご覧ください。全体の入学定員は7,920人でした。2月6・7日に実施しました推薦入試・連携型入試では、

○推薦Aの募集130人以内に対し受験者138人、合格者105人

○推薦Bの募集995人以内に対し受験者970人、合格者830人

○連携型の募集200人以内に対し受験者149人、合格者148人でした。

次に、3月11・12日に実施しました一次入試は、

○募集人員6,715人に対し受験者7,275人、合格者6,429人でした。

さらに、3月19日に実施しました二次入試では、

○募集人員293人に対し、受験者141人、合格者120人でした。

最終合格者数は7,747人であり、合格者数が入学定員に満たない欠員の人数は173人、学校数は18校でした。

次に、同じ資料の〔定時制〕の表をご覧ください。

○推薦入試は推薦Bと爽風館特別入試で実施し、受験者117人、合

格者 84 人

○一次入試は、受験者 121 人、合格者 90 人

○二次入試は、受験者 23 人、合格者 14 人

でした。最終合格者数は 188 人でした。

続きまして、資料の「平成 26 年度大分県立高等学校第一次入学者選抜学力検査結果」について報告します。上の表「学力検査点の状況」をご覧ください。各教科の平均点、最高点、最低点を国語、社会、数学、理科、英語の順に示しています。その下の欄に「学力検査合計」がありますが、平成 26 年度は全体の平均が 115.3 点になっております。参考として、その下の欄に過去 4 年分の「合計平均点」を示しています。

同じ資料の下の表「教科別学力検査点の分布状況」をご覧ください。各教科の平均点を、前年度と今年度で比較した表になっております。

○国語 +2.5 点

○社会 -3.5 点

○数学 -3.2 点

○理科 +1.2 点

○英語 -2.0 点 となっております。

次に、資料の「学力検査合計点の分布状況」をご覧ください。「学力検査合計点の分布状況」につきましても、昨年度と同様に、正規分布に近い分布を示しております。

出題は、各教科の目標に即して適切となるように努めており、基礎的・基本的な内容を重視するとともに、単に記憶や知識の量を見るだけでなく、理解力、思考力、判断力、表現力等、総合的な学力が測られるよう、出題を工夫しております。

以上で、報告を終わります。

(松田委員長)

ただいまの説明について、何かご質問がありますか。

(林職務代理者)

来年度以降の入試から問題の内容を変えると決め、今年度もその趣旨を取り入れているという報告を受けていました。今回の結果分布をみてよい問題だったと思いますが、後半部分の記述したり考えたりする問題について、解答が最後まで行き着かない生徒がいるなどの時間的な問題はなかったでしょうか。

(高畑高校教育課長)

各教科の解答の状況や特徴的な傾向など状況の詳細については、これから調べます。今回は総括的な分布や人数の状況報告ということで、詳細は分析した上で報告する予定にしております。

(林職務代理者)

是非お願いします。不安に思っている中学生・保護者もいますので、よい問題になっているということを伝えてほしいです。

(松田委員長)

来年度、試験時間を5分長くし、思考力を問う問題を入れていくということですが、さらに良い問題になるよう期待したいと思います。他にないでしょうか。

(岩崎委員)

平均点が例年より下がっているようですが、点数だけ比較すると不安に思う保護者の方々や関係者がいると思います。平均点のもつ意味を教えてください。

(高畑高校教育課長)

毎年、適切な問題になるよう、概ね各教科の平均点が25点前後を目安に作成しています。今回もその範囲内と思っています。過去にも110点台はありました。数年間でみると下がっているように見えますが、長いスパンでみると今回の平均点は、先ほどの範囲内に収まっております。

(岩崎委員)

問題の作り方しだいで平均点は変わりますが、過去4年間と比べ、生徒の学力が落ちているという評価ではないと解釈してよいですね。

(高畑高校教育課長)

はい。

(松田委員長)

保護者等が見たときに、納得できるような、今の説明が入ると分かりやすいと思います。

②平成26年度大分県立特別支援学校高等部・専攻科入学者選考の結果について

(松田委員長)

次に、報告第2号「平成26年度大分県立特別支援学校高等部・専攻科入学者選考の結果について」報告をしてください。

(後藤特別支援教育課長)

平成26年度大分県立特別支援学校高等部・専攻科入学者選考結果について、ご報告いたします。資料1枚目をご覧ください。

前期選考では162名が、後期選考では4名が受検し、合計166名全員が合格しました。この166名の合格者数は、前年度と比較しますと20名の減少でございます。なお、合格した166名全員が入学しております。

続いて資料2枚目をご覧ください。各特別支援学校における合格者数の内訳をお示ししています。盲学校については、本科普通科2名、専攻科は保健医療科及び理療科合わせて3名、計5名が合格しました。聾学校については、本科普通科に2名が合格しました。肢体不自由児及び病弱児を対象とする別府支援学校については、普通科重複障がい学級に3名、肢体不自由単一障がい学級に2名、病弱単一学級に4名、全体で9名が合格しました。肢体不自由児を対象とする別府支援学校鶴見校については、1名が合格、病弱児を対象とする別府支援学校石垣原校については6名が合格となりました。知的障がい児を対象とする特別支援学校11校については、計143名が合格しました。

また、高等部訪問教育については、高等部・入学者選考にあわせて募集をしたところ、1名の志願者があり、新生支援学校に合格いたしました。昨年度、高等部訪問教育の対象者であった1名が卒業したため、平成26年度の高等部訪問教育対象者は、本年度入学の1名のみとなります。以上、平成26年度大分県立特別支援学校高等部・専攻科入学者選考の結果について報告を終わります。

(松田委員長)

何か質問、ご意見等はありませんか。

(林職務代理者)

特別支援学校の定員を決めるときに、調査を行って決めていたと思いますが、今回合格の状況を見て、定員策定がうまくいったと考えてよいですか。

(後藤特別支援教育課長)

例年通り6月と8月に、対象者の調査を行いました。それに応じて定員を策定しております。希望した方は全員が合格しております。

(松田委員長)

高等部の訪問教育の1名ですが、昨年は何名いたのですか。

(後藤特別支援教育課長)

昨年度、訪問教育の受検生はいませんでした。対象者は1名いましたが、その方は今年の3月に卒業しています。

(松田委員長)

他になれば、以上でこの件は終わります。

③平成26年3月県立特別支援学校高等部卒業者の一般就労率について

(松田委員長)

次に、報告第3号「平成26年3月県立特別支援学校高等部卒業者の一般就労率について」報告をしてください。

(後藤特別支援教育課長)

平成26年3月卒業の知的障がい特別支援学校高等部の一般就労率について報告いたします。

はじめに、進路決定状況について資料中段をご覧ください。

特別支援学校の進路決定状況は、特別支援学校全体では96.6%、知的障がい特別支援学校では100%です。進路未定者については、国家試験に向けた準備や職業訓練施設の入所に向けた準備などに取り組むことが決まっています。

続いて、特別支援学校における一般就労率について報告いたします。

一般就労の定義ですが、本県では、一般の事業所へ就職すること及び就労継続支援A型事業所へ就労すること、としています。就労継続支援A型事業所とは、雇用契約に基づく就労機会を提供するとともに、知識および能力の向上のために必要な訓練などを行う福祉サービスのことで

す。資料上段をご覧ください。平成25年度（平成26年3月卒業）の卒業生は176名で、うち一般就労した者は48名でした。一般就労率は27.3%です。

また、知的障がい特別支援学校の卒業生は144名で、うち一般就労した者は39名でした。一般就労率は27.1%となります。

知的障がい特別支援学校における一般就労率は、昨年度に引き続き上昇しています。資料下段にありますように、平成24年度は前年度比9.6ポイントの上昇、平成25年度はさらに1.4ポイントの2年連続の上昇となっています。新大分県総合教育計画での目標指数である26%（平成27年度）を達成するとともに、全国の平均値にも近づきつつあります。

資料2枚目をご覧ください。知的障がい特別支援学校における一般就労率向上の要因は、平成23年度より展開している就労支援事業の相乗

効果であると考えています。特に、県内7校に配置した6名の就労支援アドバイザーの活躍が大きかったのではないかと分析しています。就労支援アドバイザーは新規の実習先を開拓するとともに、関係諸機関との連携を深め、生徒の希望や実態に合わせて企業との適切なマッチングを図るなど、特別支援学校における進路指導及び就労支援に貢献しました。

今年度は県費により6名の就労支援アドバイザーを配置し、県立の知的障がい特別支援学校11校すべてをカバーして支援を行うようにしています。

これからは、飛躍的に伸びた一般就労率の維持と着実な向上に努めていきたいと考えています。

(松田委員長)

それでは、ただいまの報告について、ご意見・ご質問はございませんか。

(麻生委員)

今の説明の最後の部分は、これまでの6名プラス6名(計12名)ということですか。

(後藤特別支援教育課長)

本年度は6名、ということですか。

(麻生委員)

昨年度と変わらず、引き続き6名ということですか。

(後藤特別支援教育課長)

はい、本年度6名を配置して、今までは6名で7校しかカバーしていませんでしたが、本年度は6名で11校ですから、2校受け持っている方と、1校受け持っている方、という形で、11校全部をカバーするようになりました。

(松田委員長)

他にあればお願いします。

(林職務代理者)

1ページの1番下にある一般就労率の比較なんですが、平成24年度と平成25年度の全国平均が未公表、それから、平成23年度から平成24年度にかけて大分県の数字が10パーセント上がっているんですけども、これはもしかすると、国の基準が変わって上がった可能性はないのでしょうか。だから、単に目標の26パーセントに到達したからとい

うことだけではなく、もしかしたら国の方も10パーセント上がっている可能性もあるのではないかと思うのですが、そういうことはないですか。

(後藤特別支援教育課長)

平成24年度の国の就労率は未発表なので何とも言えないのですが、慎重に比較をして、検討していきたいと思います。

(林職務代理者)

目標指数に達したから良いということではなく、もっと上がるようになって欲しいと思います。

(松田委員長)

よろしくお願いします。

他に意見がないようですから、次に移ります。

④いじめ解決支援チームの活動報告について

(松田委員長)

次に、報告第4号「いじめ解決支援チームの活動報告について」報告をしてください。

(江藤生徒指導推進室長)

それでは、いじめ解決支援チームの昨年度の活動状況について報告させていただきます。

いじめ解決支援チームは、昨年4月4日に発足しました。支援員としては、元少年鑑別所所長の高橋泰雄氏と元大分中央児童相談所所長の矢頭道三氏であります。お二人とも臨床心理士でもあり、スクールカウンセラーとしても実際の学校現場で活躍して頂いております。同時に、市町村の教育委員会や関係機関、大学等、そして大分県臨床心理士会等でも活動されております。また、本室からは警察からの出向者であります主幹の熊瀬が主に同行して活動しておりますが、事案の内容等によって本室の指導主事や教育事務所、市町村教委の指導主事等とともに活動しております。

それでは、昨年度1年間の活動状況ですが、資料の上から三つ目の黒菱形の支援状況にありますように、全出勤回数は、相談事案に直接絡むもの、絡まないものを含め91回でした。お二人の本室での勤務曜日がそれぞれ週1回、高橋支援員が火曜日、矢頭支援員が水曜日であることを考えますと、ほぼ勤務日の毎回に近い形でどこかに出勤している状況です。これは、学校と関係機関との連携、情報共有の推進が大切である

ということから、積極的に外に出向いて行ったもので、大いに貢献してくれているものと考えております。

本室への相談から始まり出動したものや実際に派遣申請に基づいて派遣したものの事案は25件ありました。そのうち、ほぼ沈静化し解決したと考えられる解決事案数は16件、沈静化はしておりますが、まだ完全とはいきれないものは9件でした。

主な解決、解消事案ですが、例として5件ほどを以下に掲載させて頂きました。支援等に差し障りがありますので、あまり詳しく申せませんが、「発達障害のある生徒に対するいじめ事案」、「盗難事件の容疑をかけるいじめ事案」、「金銭強要をされたとするいじめ事案」、「誹謗中傷の寄せ書き」、「女兒に対する手紙によるいじめ事案」等となっております。

これらのものに対しまして、学校では何もしなかったわけではありません。関係者からの聞き取りや、きちんと事実関係を把握し、必要な指導を行うよう努めたわけではありますが、関係者の主張に食い違いがあるなどして平行線をたどったり、解決の糸口がなかなか見つからなかったもので、学校では解決が困難であった事案でした。

これらの事案に対し、いじめ解決支援チームが支援に入り、関係者から直接、間接に状況を伺ったりして、事案に対するアセスメント等を行いながら、その豊富な経験、知識から適切なアドバイスや指導、助言することで解決、解消に向かいました。本室には、該当の保護者を含め関係者から感謝の言葉を聞くこともありました。また、その言葉の中には、先ほども述べましたが、お二人の専門的な知識、経験に基づく助言や、学校関係者を離れての第三者と申しますか、外部からの助言を受けることで、公平、公正さについて、より安心感があり、お互いの理解が進んだということが報告されております。

次に、継続事案についてです。多くはほぼ沈静化していると言って差し支えないとは思いますが、被害、加害双方の保護者の感情に関わる部分で完全に解消したと言い切れない部分もあり、継続事案として計上しております。

なお、次のページには、いじめ解決支援チームのコンセプトと申しますか、支援内容等をもう少し具体的に示しておりますので、後ほどご覧ください。

最後に、お二人の支援員につきましては、いじめ解決支援チームの支援員として勤務して頂いているわけですが、チームとしての勤務だけでなく、本室から発行しております「いじめ問題対応マニュアル」の作成や、先日関係者に通知しました「大分県いじめ防止基本方針」の策定、また、いじめ事案に限らず、時に、緊急事態への支援、対応や、その他のことに関しましても、生徒指導推進室としての諸課題に対しましてスーパーバイズして頂いていることを申し添えます。

以上で私の説明は終わりますが、本日は「いじめ解決支援チーム」の

矢頭道三支援員が、本日の委員会に出席しておりますので、(個人情報のため) 詳しく説明できないところもありますが、具体的な活動状況等についてご質問がございましたらよろしくお願ひしたいと思ひます。

以上です。

(松田委員長)

ただいまの報告について、質疑・意見等のある方はお願ひします。

(林職務代理者)

継続、解消した事案それぞれあると思ひますが、だいたい1つの案件に対してどれくらいの期間対応されていますか。また、継続されているというのは、やっぱり難しいのはずっと難しくなっていると思ひますが、その辺はどうなっているのでしょうか。

(矢頭支援員)

支援員の矢頭と申します。ケース、事案によって様々です。短いケースでは3ヶ月位なんですけど、半年とか、1年以上など、収まったかなと思ふとまたぶり返す、どうしても保護者の方が許せないという感情があり、また些細なことでそういう訴えをぶり返したりとなかなか長引くケースがあります。

(林職務代理者)

解決事案も含めて、次につながるような、マニュアルにも繋がってくると思ひますが、是非ご支援いただければと思ひます。

(岩崎委員)

いじめ問題について早期発見、早期対応というのが大事なんですけども、今まで支援チームとして対応してきた中で、学校の先生方に対して、こういう点に気がつけた方がいいよ、こういう問題がないわけでもないよという、チームとして注意してもらいたいことがありますか。

(矢頭支援員)

私がスクールカウンセラーとして小学校、中学校、高校に行ってみて、先生方によくお願ひするのは、やっぱり早く見つけてあげる、日頃の児童・生徒さんの日頃の行動をしっかりと観察するという事です。

態度や行動がおかしかったり、あるいは、人に比べてちょっと不登校気味だったり、学校に行き渋って、色々話を聞いてみると、やっとなんかそういうことがわかるということがあるので、児童の様子を見るというのが大事だと思います。クラス全体や学校の雰囲気作りというのは、みんな楽しんで過ごせるということ、担任の先生をはじめ管理職の方々が、

そんな雰囲気を持って行くのが大切ではないかと思います。

(岩崎委員)

そういう面を見て、今の現場は、十分に対応できているとお考えでしょうか。

(矢頭支援員)

小学校に行くと、どうしても子どもさんが多いこともありますし、支援員の先生方も一緒になって、かなり支援してはいるが、なかなか難しい面もあります。

中学校の場合、どうしても中一になると小学校時代と比べると、大きな環境の変化というか、勉強が難しくなる、友達関係が難しくなるなどで、不登校傾向になる子どもさんが多いです。そののところがしっかり支援できる体制がもっともっと必要かなと、スクールカウンセラーの立場として思います。

(麻生委員)

矢頭さんにお聞きしたいんですが、学校の先生や生徒さんが矢頭さんのことを何と呼んでいますか。矢頭さん、矢頭先生、矢頭所長とかですか。

(矢頭支援員)

スクールカウンセラーとして学校に行くときには、矢頭さんとか、歳が歳ですので、先生と呼ばれることもあります。

(麻生委員)

決まってはいいですね。

(矢頭支援員)

決まってはいいですね。面談する時に「スクールカウンセラーの矢頭です。」というような自己紹介をして、それから始まるという形です。

(麻生委員)

支援員として行ったときはどうですか。

(矢頭支援員)

支援員として行ったときは、学校の先生方が一時的な対応をしますので、先生方の対応に対してのアドバイス、コンサルテーション、まれに保護者の方と面談するときもありますが、その時は、カウンセラーとしての立場で支援のスタンスで面接をしています。

(麻生委員)

先生は、矢頭さんのことを何と呼んでいますか。

(矢頭支援員)

先生と呼ばれています。

(麻生委員)

先生方が支援員の方をどう感じているのか、支援員の矢頭さんのことをどういう視点で見ているのかなと思い、質問しました。これからも頑張ってください。

(松田委員長)

私もずっとカウンセラーをやっていて、プロの矢頭さんにも色々とお世話になりましたけど、いじめられている子どもの保護者は先生に対して一方的な見方をするんですね。そこへ、プロの方が入ると、ものすごく解決が早いんです。99%の生徒の指導は先生が一生懸命がやっているんですけども、100%というのはずいぶん難しいと思います。以前から、こういう人がいればいいなと思っていたんですね。こういう人が入ったので、現場は安心して生徒指導ができるようになったと私は感じているので、これからもバックアップは必要かと思います。

(矢頭支援員)

微力ではありますが、力を振り絞りたいと思います。志しているのは、先生方が非常に一生懸命保護者対応をされていますので、そういう先生方が疲れないように、エンパワーをするように、しっかり話を聞いて対応するようにしています。

(首藤委員)

解決の状況とかを見てみますと、いったん発生するとなかなか全面解決までには、一朝一夕には至らないなと思います。

いじめ防止基本方針について、この前出して頂いて、その中身を読ませて頂き、非常に良くできているけども、あれは県立学校と私立学校を対象ということであったので、市町村の策定状況はどうでしょうか。

(江藤生徒指導推進室長)

市町村の(いじめ防止基本方針)策定につきましては、昨年11月に説明会を開いて、市町村にも作って頂きたいとお願いしています。現在、どの市町村が作ったか、作っていないかは調査中ではありますが、ほとんどの市町村で作っている、あるいは策定中であるという風に把握し

ています。

(首藤委員)

小学校、中学校の頃からの対策が課題だと思いますので、ぜひ足並みをそろえて頂きたいと思います。

⑤各文化施設の年間行事（平成26年度）について

(松田委員長)

次に、報告第5号「各文化施設の年間行事（平成26年度）について」報告をしてください。

(山口文化課長)

各文化施設の年間行事についてご説明します。

最初に、県立歴史博物館の年間事業ですが、資料をお開きください。資料の下段が本年度の企画展になります。年間6本の企画展を予定しています。中でも下段中央10月17日から11月24日の期間に行われる「九州の戦国」と題した特別展では、九州の戦国時代、豊後の大友氏をはじめ、肥前の龍造寺氏、薩摩の島津氏など、九州の覇権を争った有力武将たちの甲冑、刀剣、合戦図、南蛮関係資料の貴重な資料を展示し、戦国大名の実像にせまります。

次に、夏季特集展示「ヤマト王権と東九州」を紹介します。これは、歴史博物館用地の中の免ヶ平（めんがひら）古墳（4世紀前半）から出土の副葬品が、6月末頃の官報告示をもって、国の重要文化財に指定の予定です。この新指定を受ける出土品や、古墳群から出土した他の資料を展示します。

次に、先哲史料館の年間事業について説明します。お手元のチラシをご覧ください。先哲史料館では、平常展に加え、年間6本の企画展を予定しています。8月23日から「近世大分の幕開け—大友が去った！官兵衛が来た！そして小藩分立へ」で黒田官兵衛にスポットを当てた企画展を開催します。NHK大河ドラマの主人公である黒田官兵衛が1587年に中津に入り、1600年に石垣原での合戦で大友吉統よしむねに勝利するまでの動向を中心に、戦国時代から江戸時代へと移りゆく大分の「姿」をわかりやすく紹介します。

この企画展に引き続き、10月11日からは、企画展「広瀬淡窓」を予定しています。昨年度は、先哲叢書で『広瀬淡窓評伝』を刊行しました。今年度は、小学校高学年以上を対象として読みやすい『前野良沢普及版』の編さんに取り組む予定です。

次に、埋蔵文化財センターでは、例年先哲史料館の展示室を使用して、発掘成果を紹介していますが、今年は12月5日から「大分の歴史を掘

り続けて10年」と題した研究成果を紹介します。

なお、芸術会館については、12月の休館までの間、展示室の貸し館業務のみを行います。

これらの事業を通して、多くの方々が郷土の歴史や文化に興味・関心を抱くきっかけになればと考えております。

以上でご報告を終わります。

(松田委員長)

ただいま説明のありました報告について、質疑・意見等のある方はお願いいたします。

(松田委員長)

日田市教育委員会がバックアップして広瀬淡窓のDVDを作成しています。そのDVDを県下全体に広めたいと思いますが、体験講座等を活用して広めることは可能ですか。

(山口文化課長)

今後調べて検討したいと思います。

【協 議】

①新設高校の開校に向けての準備状況について

(松田委員長)

それでは、協議の①「新設高校の開校に向けての準備状況について」協議をします。

(高畑高校教育課長)

〈説明概要〉

- ・来年度開校予定の新設高等学校について、校名候補の決定までの流れとスケジュールを説明

(松田委員長)

何かご質問はありますか。

(林職務代理者)

去年の佐伯の校名決定にあたって、様々なご指摘いただいている点が上手くクリアされて、これに従って行けば、良い方向で決まるのではと思いますし、よい開校準備ができると思います。

(麻生委員)

公募の告知方法(ホームページなど)を具体的に説明してください。

(高畑高校教育課長)

開校準備室でホームページを作成します。ポスター等は中学や高校など公的な施設に掲示し、市報等にも掲載して、なるべく多くの方の目に触れるようにしていきたいと思います。生徒については、学校で直接、募集できるようお願いしていきます。

(岩崎委員)

開校支援委員会に、教育委員がオブザーバーとして出席するということですが、日程的な配慮をお願いしたいと思います。

(高畑高校教育課長)

2地域のうち、1地域の日程は確定していますが、もうひとつの方が確定しておりません。

(松田委員長)

その1地域は、どちらですか。

(高畑高校教育課長)

別府の方が6月23日に予定されています。玖珠は現在、日程を調整中です。

(松田委員長)

玖珠の方も確定したら教えてください。

(高畑高校教育課長)

はい、承知しました。

(林職務代理者)

先ほど、ホームページの話が出ましたが、大分県のトップページに校名募集の件を出すことはできませんか。

(高畑高校教育課長)

教育委員会のトップページに、この後、載せる予定です。

(林職務代理者)

大分県の「県のトップページ」には、載せられないでしょうか。大分県のページから見れるとよいと思います。

(高畑高校教育課長)

可能かどうか、検討させてください。

(林職務代理者)

できるだけ、たくさんの人が見れるようにお願いします。

(高畑高校教育課長)

はい、わかりました。

(松田委員長)

皆さんのご意見を聞いて、より良いものを作り上げてください。

(松田委員長)

それでは、先に非公開と決定しました案件の議事を行いますので、関係課室長のみ在室とし、その他の課室長及び傍聴人は退出してください。

(関係課以外及び傍聴人退出)

【議 案】

第1号議案 教職員の懲戒処分について

(松田委員長)

それでは、第1号議案「教職員の懲戒処分について」提案を求めます。

(説 明)

(松田委員長)

ただいま説明のありました議案について、審議を行います。質疑・意見等のある方はお願いします。

(質疑・意見等)

(松田委員長)

それでは、ただ今、提案になりました第1号議案の承認について、お諮りいたします。第1号議案について、承認される委員は挙手をお願いします。

(採 決)

(松田委員長)

第1号議案については、提案どおり承認します。

【協 議】

②平成27年度（平成26年度実施）教員採用試験実施要項(案)について

(松田委員長)

それでは、協議の②「平成27年度（平成26年度実施）教員採用試験実施要項(案)について」協議をします。

(説 明)

(松田委員長)

ただいま説明がありましたが、質疑・意見等のある方はお願いします。

(質疑・意見等)

(松田委員長)

それでは、今回の協議の結果を踏まえて、今後の準備を進めてください。

③平成27年度（平成26年度実施）民間人校長採用選考(案)について

(松田委員長)

それでは、協議の③「平成27年度（平成26年度実施）民間人校長採用選考(案)について」協議をします。

(説 明)

(松田委員長)

ただいま説明がありましたが、質疑・意見等のある方はお願いします。

(質疑・意見等)

(松田委員長)

では、協議の結果を踏まえて、進めてください。

(松田委員長)

他に何かございませんか。

ないようですので、これで平成26年度第2回教育委員会会議を閉会します。

お疲れ様でした。

平成26年度第2回大分県教育委員会会議次第

日時 平成26年4月21日(月)

14:10~16:05

場所 教育委員室

1 開 会

2 署名委員の指名

3 議 題

(1) 議 案

第1号議案 教職員の懲戒処分について

(2) 報 告

①平成26年度大分県立高等学校入学者選抜結果について

②平成26年度大分県立特別支援学校高等部・専攻科入学者選考の結果について

③平成26年3月県立特別支援学校高等部卒業者の一般就労率について

④いじめ解決支援チームの活動報告について

⑤各文化施設の年間行事(平成26年度)について

(3) 協 議

①新設高校の開校に向けての準備状況について

②平成27年度(平成26年度実施)教員採用試験実施要項(案)について

③平成27年度(平成26年度実施)民間人校長採用選考(案)について

(4) その他

4 閉 会

【資料No. 1】

平成26年度大分県立高等学校入学者選抜実施結果

[全日制] (別府商業高校を含む)

項目 年度	入学定員	推薦入試・連携型入試						一次入試						推薦入試、 連携型入試 及び二次入 試合格者数			最終 合格者数	応募数 (学校数)
		種別	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	合格者数	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	合格者数	合格者数	募集人員	志願者数	受験者数		
26年度	7,920	推薦A	130	138	138	105	6,715	7,452	7,275	6,429	7,627	173 (18校)	7,747	120 (18校)	141	145	293	
		推薦B	995	970	970	830												
		連携型	200	149	149	148												
25年度	8,160	推薦A	130	152	151	117	6,833	7,545	7,384	6,535	7,850	222 (15校)	7,938	88	111	118	310	
		推薦B	1,029	1,181	1,180	914												
		連携型	240	166	166	166												
増減	△ 240	推薦A	0	△ 14	△ 13	△ 12	△ 118	△ 93	△ 109	△ 106	△ 223	△ 49 (3校)	△ 191	32	30	27	△ 17	
		推薦B	△ 34	△ 211	△ 210	△ 84												
		連携型	△ 40	△ 17	△ 17	△ 18												

※「推薦入試、連携型入試及び一次入試合格者数」には、併設型中高一貫教育による内進生を含む。
 ※推薦A：3校4学科(別府羽室台高校、外国語科、大分舞鶴高校:理数科、芸術緑丘高校:音楽科・美術科)で実施。
 推薦B：推薦A実施学科以外の41校(本校38、分校3)で実施。
 連携型：安心院高校と由布高校で実施。

[定時制]

項目 年度	入学定員	推薦入試						一次入試						推薦入試 及び一次入 試合格者数			最終 合格者数	応募数 (学校数)
		種別	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	合格者数	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	合格者数	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数		
26年度 (396)	440 (396)	推薦B	24	2	2	1	312	139	121	90	174	208 (4校)	188	14	23	24	222	
		特別入試	98	117	115	83												
25年度 (396)	440 (396)	推薦B	24	1	1	1	320	127	111	82	158	214 (4校)	182	24	34	35	238	
		特別入試	98	116	109	75												
増減	0	推薦B	0	1	1	0	△ 8	12	10	8	16	△ 6	6	△ 10	△ 11	△ 11	△ 16	
		特別入試	0	1	6	8												

※入学定員欄の()は、狭風館高校の秋季募集人員及び春季転編入学者試験の募集人員を除いた数。
 ※推薦B：2校(大分工業、日田)で実施。
 特別入試：狭風館高校で実施。

平成26年度 大分県立高等学校第一次入学者選抜学力検査結果

○ 学力検査点等の状況

		平均点	最高点	最低点
教科	国語	24.3 点	47 点	0 点
	社会	23.1 点	50 点	0 点
	数学	22.0 点	50 点	0 点
	理科	22.8 点	50 点	0 点
	英語	23.0 点	50 点	0 点
学力検査 合計		115.3 点	239 点	7 点
参考	平成25年度 学力検査合計平均点	120.2 点		
	平成24年度 学力検査合計平均点	132.0 点		
	平成23年度 学力検査合計平均点	120.8 点		
	平成22年度 学力検査合計平均点	119.3 点		

○ 教科別学力検査点の分布状況

得点 教科	50	49～40	39～30	29～20	19～10	9～1	0	年度	平均点	前年 との差	最高点	最低点
	国語	0 (0.0)	358 (4.8)	1918 (25.9)	2797 (37.8)	1963 (26.5)	354 (4.8)	6 (0.1)	平成26	24.3	2.5	47
								平成25	21.8	46		0
社会	2 (0.0)	456 (6.2)	1633 (22.1)	2439 (33.0)	2163 (29.2)	699 (9.5)	4 (0.1)	平成26	23.1	-3.5	50	0
								平成25	26.6		50	0
数学	1 (0.0)	87 (1.2)	1385 (18.7)	3243 (43.8)	1968 (26.6)	693 (9.4)	19 (0.3)	平成26	22.0	-3.2	50	0
								平成25	25.2		50	0
理科	2 (0.0)	388 (5.3)	1445 (19.6)	2662 (36.0)	2287 (31.0)	594 (8.0)	7 (0.1)	平成26	22.8	1.2	50	0
								平成25	21.6		50	0
英語	23 (0.3)	645 (8.7)	1530 (20.7)	2143 (29.0)	2090 (28.3)	951 (12.9)	3 (0.0)	平成26	23.0	-2.0	50	0
								平成25	25.0		50	0

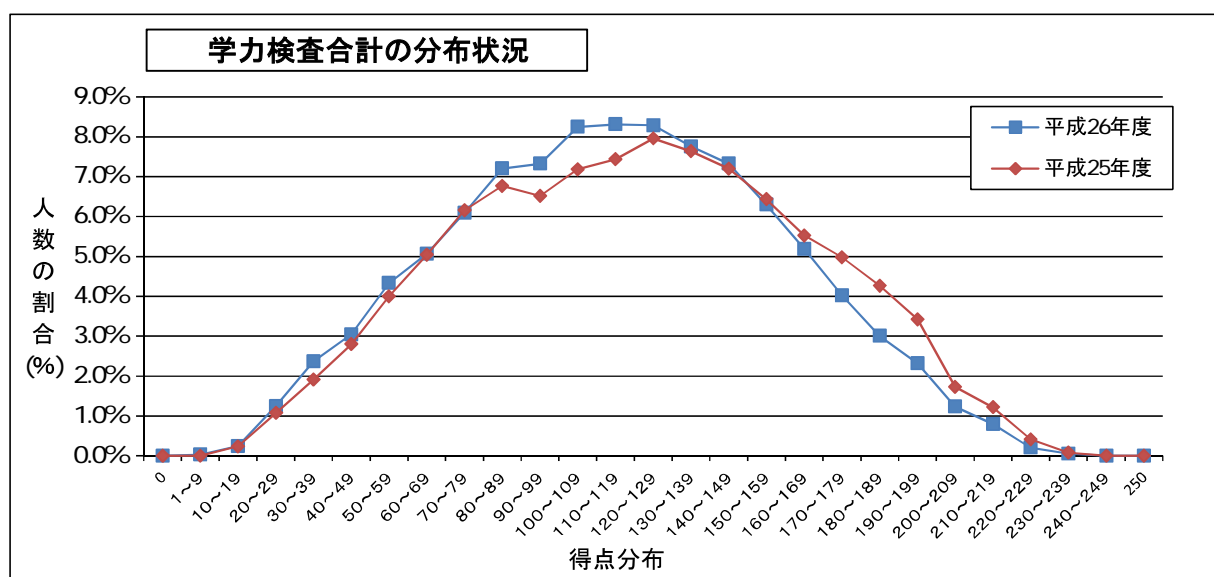
()内は割合 (%)

平成26年度 大分県立高等学校第一次入学者選抜学力検査結果

○ 学力検査合計点の分布状況

得点	合計		累計	
	人数	%	人数	%
250				
249 ~ 240				
239 ~ 230	4	0.1%	4	0.1%
229 ~ 220	15	0.2%	19	0.3%
219 ~ 210	59	0.8%	78	1.1%
209 ~ 200	91	1.2%	169	2.3%
199 ~ 190	171	2.3%	340	4.6%
189 ~ 180	222	3.0%	562	7.6%
179 ~ 170	297	4.0%	859	11.6%
169 ~ 160	383	5.2%	1,242	16.8%
159 ~ 150	465	6.3%	1,707	23.1%
149 ~ 140	541	7.3%	2,248	30.4%
139 ~ 130	573	7.8%	2,821	38.2%
129 ~ 120	612	8.3%	3,433	46.5%
119 ~ 110	614	8.3%	4,047	54.8%
109 ~ 100	609	8.2%	4,656	63.0%
99 ~ 90	541	7.3%	5,197	70.4%
89 ~ 80	532	7.2%	5,729	77.6%
79 ~ 70	450	6.1%	6,179	83.7%
69 ~ 60	374	5.1%	6,553	88.7%
59 ~ 50	320	4.3%	6,873	93.1%
49 ~ 40	225	3.0%	7,098	96.1%
39 ~ 30	175	2.4%	7,273	98.5%
29 ~ 20	92	1.2%	7,365	99.7%
19 ~ 10	18	0.2%	7,383	99.9%
9 ~ 1	2	0.0%	7,385	100.0%
0				
合計	7,385			

* 合計人数 (7,385人) は、5教科を受験した人数である。



平成26年度大分県立特別支援学校高等部・専攻科入学者選考の結果について

平成26年4月21日
特別支援教育課

1 入学者選考の結果（概要）

県立特別支援学校16校において、高等部・専攻科の入学者選考を実施した。
概要は下表のとおりである。

高等部	入 学 定 員	前期選考			後期選考			合格者 合 計
		志願者	受検者	合格者	志願者	受検者	合格者	
本 科	364	161	159	159	4	4	4	163
専攻科	24	3	3	3	0	0	0	3
合 計	388	164	162	162	4	4	4	166

※表中の数字は全て人数

2 学校別・学科別合格者数

各特別支援学校の合格者数は、別紙「平成26年度大分県立特別支援学校高等部・専攻科（前期及び後期）入学者選考結果」のとおり。

3 高等部訪問教育の合格者

高等部入学者選考にあわせて募集した。中学校卒業予定者1名が大分県立新生支援学校を志願し、合格した。

平成26年度大分県立特別支援学校高等部・専攻科（前期及び後期）入学者選考結果

学 校		学 科 ・ 学 級			募集人員	前期合格者数	後期合格者数	合格者数 合 計
視 覚 障 が い	盲学校	本 科	普通科	重複障がい	3	1	0	1
				単一障がい	8	1	0	1
		専 攻 科	保健医療科		8	2	0	2
			理 療 科		8	1	0	1
		小 計				27	5	0
聴 覚 障 が い	聾学校	本 科	普通科	重複障がい	3	0	0	0
				単一障がい	8	2	0	2
				産業技術科		8	0	0
		専 攻 科	産業技術科		8	0	0	0
		小 計				27	2	0
肢 体 不 自 由 病 弱	別府支援学校	普 通 科	重複障がい		6	3	0	3
			単一障がい（肢体不自由）		8	2	0	2
			単一障がい（病弱）		16	4	0	4
		小 計				30	9	0
肢 体 不 自 由	別府支援学校鶴見校	普 通 科	重複障がい		3	1	0	1
			単一障がい		8	0	0	0
		小 計				11	1	0
病 弱	別府支援学校石垣原校	普 通 科	重複障がい		9	5	0	5
			単一障がい		8	1	0	1
		小 計				17	6	0
知 的 障 が い	宇佐支援学校	普 通 科	生活教養科（重複障がい）		6	3	0	3
			職業生活科（単一障がい）		24	17	0	17
	中津支援学校	普 通 科	生活教養科（重複障がい）		6	4	0	4
			職業生活科（単一障がい）		16	6	0	6
	日出支援学校	普 通 科	生活教養科（重複障がい）		6	2	0	2
			職業生活科（単一障がい）		16	11	0	11
	南石垣支援学校	普 通 科	生活教養科（重複障がい）		9	4	0	4
			職業生活科（単一障がい）		16	11	0	11
	由布支援学校	普 通 科	生活教養科（重複障がい）		6	4	0	4
			職業生活科（単一障がい）		8	7	0	7
	新生支援学校	普 通 科	生活教養科（重複障がい）		6	2	1	3
			職業生活科（単一障がい）		40	17	1	18
	大分支援学校	普 通 科	生活教養科（重複障がい）		9	5	0	5
			職業生活科（単一障がい）		24	12	1	13
	白杵支援学校	普 通 科	生活教養科（重複障がい）		3	1	0	1
			職業生活科（単一障がい）		24	9	0	9
	佐伯支援学校	普 通 科	生活教養科（重複障がい）		3	1	0	1
			職業生活科（単一障がい）		16	6	0	6
	竹田支援学校	普 通 科	生活教養科（重複障がい）		3	0	0	0
			職業生活科（単一障がい）		16	8	0	8
日田支援学校	普 通 科	生活教養科（重複障がい）		3	2	0	2	
		職業生活科（単一障がい）		16	7	1	8	
小 計				276	139	4	143	
合 計				388	162	4	166	

【高等部訪問教育】

実施校名	志願者数	合格者数
新生支援学校	1	1

平成26年3月県立特別支援学校高等部卒業者の 一般就労率について〈報告〉

平成26年4月21日
特別支援教育課

平成25年度（平成26年3月卒業）の一般就労率

〈特別支援学校全体〉

27.3%

（卒業生数176名 一般就労者48名）

*卒業生数には、盲学校専攻科5名、聾学校専攻科1名、附属特別支援学校7名を含む。

*一般就労には“自営業”及び“就労継続支援事業A型”を含む。

〈知的障がい特別支援学校のみ〉

27.1%

（卒業生数144名 一般就労者39名）

*卒業生数には、附属特別支援学校7名を含む。

*一般就労には“自営業”及び“就労継続支援事業A型”を含む。

〈注〉就労継続支援A型事業所とは、雇用契約に基づく就労機会を提供するとともに、知識及び能力の向上のために必要な訓練などを行う福祉サービスのことである。

〈資料〉

○平成25年度（平成26年3月卒業）の進路決定状況

〈特別支援学校全体〉

96.6%

（卒業生数176名 3月20日時点での進路決定者170名）

*未定者の状況は「国家試験へ向けた準備」、「職業訓練施設の入所選考へ向けた準備」等

〈知的障がい特別支援学校のみ〉

100%

（卒業生数144名）

○全国との一般就労率の比較（知的障がい特別支援学校）

卒業年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
全国	26.7%	27.4%	28.4%	未公表	未公表
大分	17.9%	13.9%	16.1%	25.7%	27.1%

*新大分県総合教育計画での目標指標26%（平成27年度）

○就労率が向上した要因として考えられること

就労支援アドバイザーの配置を中心とした

「就労支援事業」の相乗効果

教員の指導力向上	生徒・保護者・教員の意識変化	生徒の職業能力向上	関係機関との連携ネットワークの構築
----------	----------------	-----------	-------------------

- ①就労支援アドバイザー…学校の就労支援ノウハウを向上させ、企業や関係機関と連携する。
- ②一般就労チャレンジ職員…一般就労できなかった生徒を特別支援学校で一定期間雇用する。
- ③外部講師による技術指導…企業等の外部人材を講師として活用し、専門的な技術指導をする。
- ④大分県チャレンジ検定…清掃技術の検定を行い、10級から1級を認定する。
- ⑤地域ネットワークの構築…企業や関係機関の担当者を学校へ招へいして情報交換等を行う。

いじめ解決支援チームの実績

H26.3.31現在

◆発足：平成25年4月4日（木）

◆支援員構成：支援員 高橋泰雄（元少年鑑別所所長、臨床心理士）
 矢頭道三（元大分中央児童相談所所長、臨床心理士）
 県教委 熊瀬 寛（生徒指導推進室主幹、県警より出向）
 指導主事（生徒指導推進室）
 地教委 指導主事（関係市町村指導主事等）

◆支援状況：（26.3.31現在）

- ・全出勤回数：延べ 91回（警察・児相等関係機関訪問も含む）
- ・事案件数：25件
- ・解決事案数：16件（沈静化を含む）
- ・継続事案数：9件

◆主な解決・解消事案

- ・高等学校「発達障がいのある生徒に対するいじめ事案」
 加害生徒へのカウンセリングによる反省指導と、被害生徒への支援体制の助言を担当、養護教諭に行い、いじめが解消した。
- ・高等学校「盗難事件の容疑をかけるいじめ事案」
 校内で盗難事件がおき、数人の生徒が被害者にその容疑をかけ、仲間はずれ等のいじめを行った。被害者生徒へのカウンセリングを行い、事実関係の精査と生徒等への説明を行い解決した。
- ・中学校「金銭強要をされたいじめ事案」
 被害者生徒へのケアに対する助言を行うとともに、加害者への指導及び観護能力低い保護者への対応を学校へ助言する。また、加害生徒の指導について、児童相談所等とも連携し解決した。
- ・中学校「誹謗中傷の寄せ書き」によるいじめ事案
 誹謗中傷が書かれたメモにより傷ついた被害生徒、保護者への支援・助言を行い、全体指導等を助言することで沈静化し解消した。
- ・小学校「6年生女兒に対する手紙によるいじめ事案」
 「死ねと書かれた手紙」によるいじめ事案であったが、チームが学校に入り解決支援を行ったところ、自作自演の事案と分かり、本人の心のケアに切り替えて支援し解決した。

いじめ解決支援チーム

いじめ発生
解決支援時

いじめ解決支援 チーム



少年鑑別所、児童相談所等
経験者(臨床心理士有資格者)2名

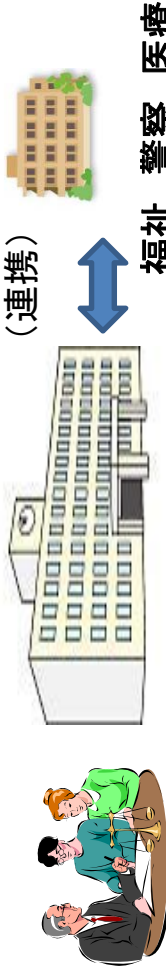


- 【生徒指導推進室】
- 【各地区教育事務所】
- 【市町村教育委員会】

バックアップ

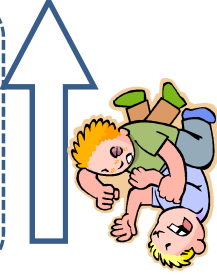
大分県
学校問題解決支援チーム
(弁護士・医師・臨床心理士)

いじめ・暴力行為事案が発生
派遣要請
(小中学校→市町村教委→県)
(県立学校→→→→→)



緊急派遣

暴力、盗難、強
要等を伴ういじ
め事案に対応
(いじめの事実、
原因や子どもの
背景を解明)



支援内容

- ①方針策定支援(情報整理、アセスメント等)
- ②被害・加害児童生徒への支援(カウンセリングによる心のケア)
- ③事案対応の校内体制づくり支援(いじめ対策委員会等へ参加・助言)
- ④被害・加害保護者対応支援(第三者的立場から調整・解決支援)
- ⑤関係機関連携支援(警察、福祉・医療機関等との連携)
- ⑥学校活動支援(周囲の児童生徒のケア、学級・学校集団づくり、教職員・スクールカウンセラーとの連携等)
- ⑦情報発信体制への支援(PTAへの情報発信、報道機関への対応等)

派遣事案の例

平成25年度 対応実績	部活動においてSNS(ライン)により誹謗中傷を受け、不登校になった。 発達障がいのある生徒に対して、「ぶつころすぞ」等の暴言をはいた。
91回出動 (※関係機関訪 問含む)	男子生徒3名から叩く、髪を引っばる等の身体的のいじめを受けた。 部活動において自らの言動によっていじめ、疎外され不登校になった。
25件対応	複数の生徒から誹謗中傷が書かれたメモが発見された。
うち16件 解決	部活動でのいじめをめぐり、保護者と学校の関係がこじれた。 加害者児童生徒の指導をめぐり、保護者の理解が得られず、解決が進まない。
継続9件	盗難事案発生に伴う生徒間対立といじめへの発展に対する予防的対応。 小学校当時から対立関係から誹謗中傷に耐えきれず暴力行為をした。 物品を隠される等のいじめに対処する、学校指導等に対する保護者の不信感が大きい。

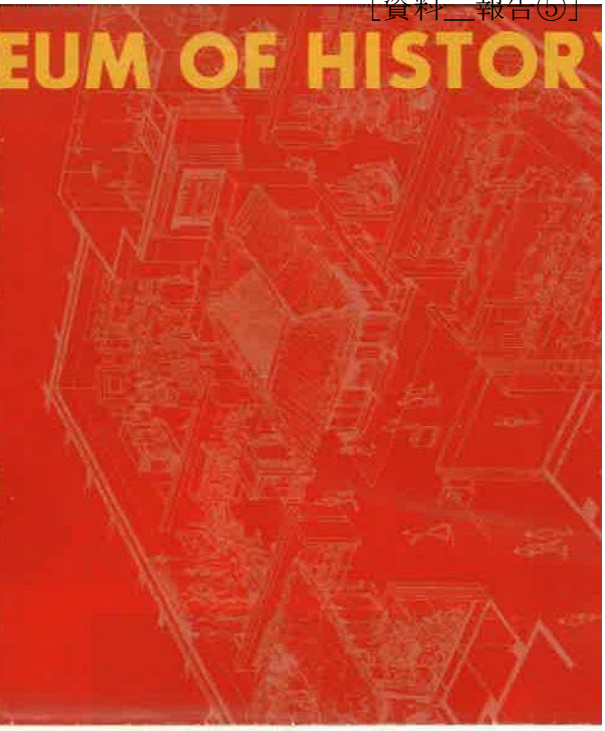
OITA PREFECTURAL MUSEUM OF HISTORY

大分県立歴史博物館 (宇佐風土記の丘)

展示・催し物のご案内

平成26年度行事予定表

2014.4 ▶ 2015.3



利用のご案内

開館時間 9:00~17:00 (入館は16:30まで)
宇佐風土記の丘はいつでも散策自由
休館日 月曜日(祝日・振替休日の場合はその直後の平日)
12月28日~1月4日
※臨時開館する場合があります

観覧料(平常展)

区分	一般	高・大学生
個人	310円	150円
団体(設定)	200円	100円

- 中学生以下および土曜日の高校生の観覧は無料です。
- 身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方とその他添いの方1名は無料です。
- 企画展は平常展の観覧料で観覧できます。
- 特別展は別料金の設定になります。

交通のご案内

- 宇佐別府道路「宇佐IC」から12分、「院内IC」から15分
- JR柳井浦駅から車で5分、JR宇佐駅から車で10分
- バス停「大分歴史博物館前」下車徒歩0分(土・日・祝日のみ運行)
- 宇佐神宮から車で5分



大分県立歴史博物館 (宇佐風土記の丘)

〒872-0101 大分県宇佐市大字高森字京塚
TEL 0978-37-2100 FAX 0978-37-2101
<http://kyouiku.oita-ed.jp/rekisihekhukubutukan-b/>
 E-mail: a31702@pref.oita.lg.jp



最新の情報は
ホームページから

学校向け事業のご案内

歴史博物館では、児童生徒のみならずが地域のくわしい歴史や文化財について楽しく学べるメニューを用意しています。総合学習や課外活動、遠足などにご利用ください。

1 博物館でわくわく体験

メニュー	所要時間	内容
博物館探検	1時間	収蔵庫などふだん見ることのできない博物館の裏側を探検できます。
ミニチュア土器作り	2時間	焼かなくても固くなる粘土で土器を作ります。
拓本(佐くほん)に挑戦	1時間	鏡などに描かれた美しい模様を写し取ります。 ※小学校高学年~中学生向け
ぬり絵で学ぶ むかしのくらし	1時間	江戸時代の本のさし絵に色をぬりながら学びます。 ※小学校低学年向け
展示学習講座	1時間	昔の道具、日本の歴史など教科にあわせた学習講座です。

※人数等に制限がありますので、くわしくは希望日の10日前までに
ご相談ください。

2 風土記の丘の利用

メニュー	内容
スケッチ大会	桜並木、葛蒲園、コスモスなどの美しい自然や、古墳の遠景などスケッチの題材がいっぱいです。
風土記の丘 ウォークラリー	公園内の前方後円墳や植物などを利用したウォークラリーができます。

※このほか古墳の見学ももちろん、広い敷地は遠足に最適です。
利用内容については、お気軽にご相談ください。

3 学芸員が出かけます(訪問講座)

当館の学芸員が、学校での授業や公民館での生涯学習で、地域の歴史や文化財についてわかりやすく解説します。博物館の資料をお持ちすることもできます。

宇佐鳳士記の丘



6基の前方後円墳を中心とした史跡公園です。四季の花々が咲き競う園内は、自由に散策できます。

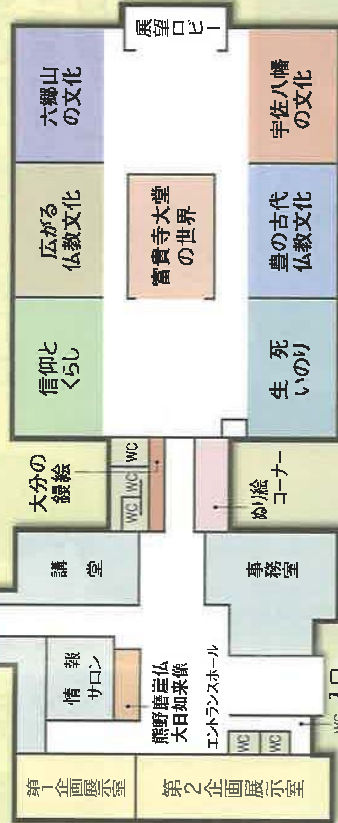


免ヶ平古墳

- 案内板
- ▲ 水飲み場
- ☎ トイレ
- 🚗 駐車場
- Ⓟ 駐ま
- ☒ あずまや



● 展示場案内



鶴見古墳

博物館歴史文化講座

大分県の歴史と文化について、考古学・歴史学・民俗学・美術史学・文化財学といった多様な分野から学ぶことができます。

会場：当館講堂 講師：当館職員

第1回	美術史学1	5月20日
第2回	美術史学2	5月27日
第3回	文化財学1	6月3日
第4回	文化財学2	6月10日
第5回	考古学1	6月17日
第6回	考古学2	6月24日
第7回	歴史学1	7月1日
第8回	歴史学2	7月8日
第9回	歴史学3	1月20日
第10回	歴史学4	1月27日
第11回	歴史学5	2月3日
第12回	歴史学6	2月10日
第13回	民俗学1	2月17日
第14回	民俗学2	2月24日

前期
毎週火曜日
13:30~15:00

後期
毎週火曜日
13:30~15:00

講座の内容については、事前に お問い合わせください。

春

特集展示

ムラのお医者さま

一地域社会と医療—
人々のくらしに寄り添った
在村医の活動を通して、主
に近代の地域社会における
医療のあゆみを紹介しつ



※関連講座・ギャラリートークなどを行います。

夏



特集展示

飛霞とカッパ

幕末の三大本学者・哲家飛霞の
カッパ研究を通して、「江戸時代
の科学」に迫ります。



石塚山古墳
(刈田町提供)



重要文化財新指定 大分県免ヶ平古墳出土品

ヤマト王権と東九州

宇佐風土記の赤塚古墳、免ヶ平古墳
などから、出土した銅鏡や装身具などか
ら、東九州とヤマト王権との関係を探り
ます。



豊の国・おおいたの歴史と文化再発見

平常展では、人々のくらしと祈りを中心テーマとして、最新の研究成果や、
季節ごとの特集展示等により、文化財の新たな魅力を紹介します。

4 Apr.

5 May.

6 Jun.

7 Jul.

8 Aug.

9 Sep.

企画展

まんがの力

—日本の20世紀と麻生豊—
4/1(水)~4/13(日)



「時代を語る 映画ポスター・レコード展」

4/4(金)~4/20(日)

時代を影った映画ポスター、アイドルの
レコードなどお宝満載のコレクション展



企画展

うつつわ

4/25(金)~6/29(日)
地域の食文化やうつわを通
して、おおいの豊かな風
土や、人と「うつわ」の関わ
りを紹介します。



19Cアラベスク文ワイングラス

企画展

“桃源郷”

一心をあらわす、文化をつなぐ—
7/18(金)~9/15(月)

鋭い感性と深い精神性が表された水墨画
は、日本文化の源のひとつです。本展では、
白隠や豊後南画の大家田能村竹田、現代
水墨画家王子江の作品などから、文化の
伝統と創造を探ります。

王子江作品九州初公開！
新作出品！



豊後南画に、関連講座・ギャラリートークなど盛り込まれます。

秋

特別展関連展示

大友宗麟の造った岡

中世、府内は国際色豊かな文化都市でした。これまでの調査で確認された資料を通して、当時の生活や暮らしを紹介します。



大分県歴史資料館所蔵
原本：神戸市立博物館所蔵
黒田氏と大分の城
豊臣秀吉の時代、戦国武将黒田官兵衛が築いた中津城、城兵めを行なった安岐城、官兵衛の弟利高が城主であった高森城など、官兵衛の時代の城や資料を紹介いたします。

10 Oct.

11 Nov.

特別展

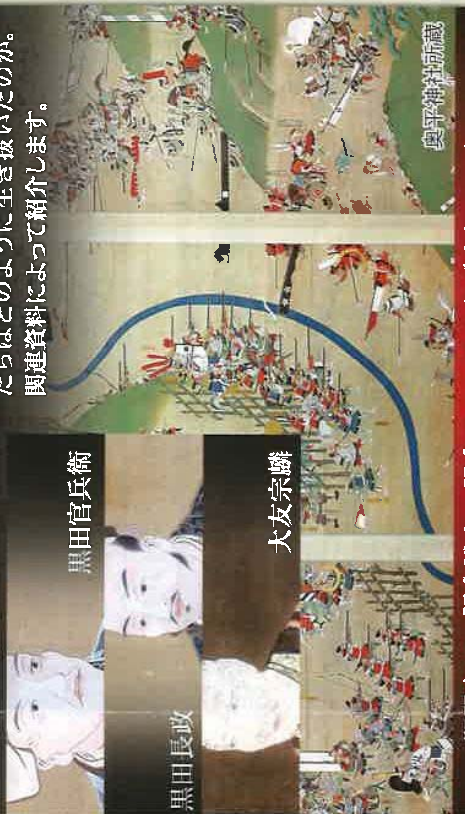
九州の戦国

10/17(金)～11/24(月)

日本史上に類をみない、長く続いた戦乱の世—戦国時代。大友氏・黒田氏・大内氏・島津氏などの武将たちは、どのように戦い抜いたのか。そして、この時代、民衆たちはどのように生き抜いたのか。関連資料によって紹介します。

黒田官兵衛

大友宗麟



期間中に、記念講座・記念フォーラムなどを行います。

奥平神社所蔵

冬

特集展示

平安の壁画—浄土を描く—

今日よみがえった平安時代の浄土世界を紹介します。



※ギャラリートークなどを行います。

12 Dec.

1 Jan.

2 Feb.

3 Mar.

平成26年度 (2014.4-2015.3) 大分県立歴史博物館 展示・催し物のご案内

◎都合により行事名や日程等は変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。



折形—贈り物をつつむ—

贈答の際に紙を折って贈り物を包む折形を通して、日本人の贈る心を紹介いたします。

企画展

道と旅のものがたり

2/6(金)～4/12(日)

東九州道の全線開通により、九州内の交流が深まると期待されています。この展示では、交通が発達した近現代の旅や観光、東九州道沿線の風土や魅力を紹介します。

企画展

ふるさとのみほとけ

—豊前の念仏—

12/9(水)～1/18(日)

大分県北部は、かつての豊前国であり、法然と親鸞のおしえが広がる地域です。この展示では、阿弥陀信仰を通して、豊前国の暮らしと文化の特徴を紹介します。



※期間中に、関連講座・ギャラリートークなどを行います。

企画展

道と旅のものがたり

2/6(金)～4/12(日)

東九州道の全線開通により、九州内の交流が深まると期待されています。この展示では、交通が発達した近現代の旅や観光、東九州道沿線の風土や魅力を紹介します。



平成26年度 年間事業のご案内

展 示

平常展 大分の先哲たち

大分の代表的な先哲の業績と人間像を紹介。

同時開催 歴史博物館特設ギャラリー展

歴史博物館が所蔵する貴重史料を展示紹介。

■平成26年3月29日(土)～5月12日(月)

■平成27年3月28日(土)～

企画展 新収蔵史料展

平成25年度に新しく収蔵した史料を展示紹介。

■平成26年5月17日(土)～6月29日(日)

企画展 見つけよう! -おおいたの先哲- 子どもたちへのメッセージ

■平成26年7月5日(土)～8月17日(日)

企画展 近世大分の幕開け

—大友が去った! 官兵衛が来た! そして小藩分立へ—
黒田官兵衛を始めとする石垣原合戦の動向を中心に、中世から近世へと移りゆく大分の「姿」をわかりやすく紹介。

■平成26年8月23日(土)～10月5日(日)

秋季企画展 廣瀬淡窓

—近世最大規模の私塾創設者—

日田出身の儒学者廣瀬淡窓の生涯、業績、人となり、エピソードなどを関係資料によってわかりやすく紹介。

■平成26年10月11日(土)～11月24日(月)

埋文企画展 大分の歴史を掘り続けて10年

—埋蔵文化財センターの歩み—

これまでに発掘した代表的な遺跡とその研究成果を紹介。

同時開催 歴史博物館特設ギャラリー展

■平成26年12月5日(金)～平成27年2月1日(日)

20周年記念展 大分のアーカイブズ

先哲史料館・県立図書館・公文書館のアーカイブズを展示紹介。

■平成27年2月7日(土)～3月22日(日)

講座・講演会

史料講座基礎編

定員30名：要申込

■平成26年6月 7日(土)・6月14日(土)
6月21日(土)・6月28日(土)

初心者を対象に、記録史料解読の基礎知識をわかりやすく紹介します。4回連続。5月16日(金)までにハガキ・FAX・メールでお申込みください。

史料講座応用編

定員30名：要申込

■平成27年2月17日(火)・2月18日(水)

上・中級者を対象に、記録史料の整理・目録作成の方法を演習をとおして学びます。2日間連続。平成27年1月23日(金)までにハガキ・FAX・メールでお申込みください。

秋季企画展記念講演会

■平成26年11月9日(日) 13:30～

●演題：「廣瀬淡窓とその時代」(仮題)

●講師：高橋 昌彦(福岡大学教授)

史料保存セミナー

県公文書館・別府大学と共催で行う古文書等の保存のための研修会。

●日時：平成26年11月下旬

●講師：未定

大分県先哲叢書

大分県教育委員会発行

最新刊のご案内



廣瀬淡窓 評伝



県内の公立図書館でご利用ください

利用案内

開館時間	■展示室 9:00～17:00 ■閲覧室 9:00～17:00	※史料請求は 9:00～12:00、 13:00～16:30
休館日	月曜日(国民の祝日・振替休日と重なった場合は火曜日) 展示室のみ 第2・4月曜日 閉室 年末年始(12月28日～1月4日) 特別整理期間(11月25日(火)～12月4日(木))	
入館料	無 料	
交通機関	■バス JR大分駅 府内中央口(北口) バスのりばから 大分交通の「県立図書館行き」県立図書館前下車 ■JR 大分駅から徒歩25分 西大分駅から徒歩15分	
駐車場	地下1階と県立図書館バス停前に172台駐車可能 ※なるべく公共交通機関をご利用ください。	

豊の国情報ライブラリー
大分県立図書館 大分県公文書館

大分県立先哲史料館

〒870-0008 大分市王子西町14番1号

TEL 097-546-9380 FAX 097-546-9389

http://kyouiku.oita-ed.jp/sentetusiryokan-b/ E-mail:a31710@pref.oita.lg.jp



新設高校の開校に向けての準備状況について（平成26年4月21日）

高校教育課

1 平成27年4月開校予定の新設高等学校

	別府地域新設高校	玖珠地域新設高校
学校構想等	<ul style="list-style-type: none"> 別府青山高校、別府羽室台高校、別府商業高校を発展的に統合（段階的統合） 単位制高校の特色を活かし、地域に学び、主体的に考え、行動できる能力を備えた、グローバルな人材を育成する学校 普通科（4学級）、商業科（3学級）、グローバルコミュニケーション科（1学級） 	<ul style="list-style-type: none"> 森高校、玖珠農業高校を発展的に統合（一括統合） 総合選択制高校としての特長を最大限に発揮し、進路希望の達成と郷土や地域社会を担う人材を育成する学校 普通科（3学級）、地域産業科（1学級）

2 校名候補決定の考え方

地域の人々から親しまれ、特色・魅力・活力ある学校づくりを行うため、以下の視点を総合的に評価し、県教育委員会で決定する。

- ・公募による投票状況を踏まえた校名であること
- ・新しい学校の学校構想にふさわしい校名であること
- ・響きや文字から夢や希望のある高校生活をイメージできる校名であること
- ・地域の人々から親しまれ、愛される校名であること

3 校名候補決定までの流れ

① 公募

上記視点による校名案を全国から公募する。

- 募集形態 全国公募（郵送、FAX、メール等で募集）
- 周知方法 ホームページ、ポスター、市報等
- 募集期間 平成26年4月28日（月）～ 5月31日（土）

② 意見聴取・選抜

開校準備委員会、開校支援委員会を開催し、地域の事情、地域住民の思い等を聴取するとともに、校名の候補案を選抜する。

- 開催時 平成26年6月中
- 開校準備委員会 統合校の校長、開校準備室長・主幹で構成した開校準備委員会により全国公募の中から、10点程度選抜する。
- 開校支援委員会 地元の行政・教育関係者、統合校関係者等で構成した開校支援委員会により、2～3点選抜し、校名の候補として県教育委員会に推薦する。
なお、開校支援委員会には県教育委員も出席する。

③ 決定

県教育委員会において、校名候補を決定する。

- 教育委員会 平成26年7月中
- 決定 教育委員会に開校準備室長が出席し、開校準備委員会・開校支援委員会での選抜状況等を説明した後、教育委員会で決定する。